

memo ソフト my_help の開発

情報科学科 27014520 山田智子

1 はじめに

私たちは、何か知識を得たときには度々メモを取る。しかし、そのメモの場所が思い出せない、あるいはメモを紛失した経験がある。あるいは、何度も同じことを web で検索することもある。そこで、探す手間や紛失する可能性を無くすために my_help という memo ソフトを開発した。

2 手法

2.1 my_help の開発コンセプト

ヒトの脳ではキーワードが手がかりとなって、違う分類、別の階層の知識、記憶を思い出す。my_help は、これを模倣し、コンピュータの中にある分類化、階層化された知識を直交補空間として呼び出すことができるシステムである。

2.2 my_help の特徴

my_help は emacs の Markdown である org-mode を利用したソフトなので、長文や latex, html にも対応している。org-mode で作成した文章は emacs 以外でも利用できる。例えば、github では.md と同じ様に.org に対応している。

org-mode の export 機能を利用すれば HTML や LaTeX など様々なフォーマットに変換可能である。(https://qiita.com/dwarfJP/items/594a8d4b0ac6d248d1e4)

my_help を使うにあたり、emacs と org-mode の使い方を master しなければならない。

2.3 my_help の振る舞い

CUI/CLI のように terminal 上で動かすことができるので、command で呼び出すとすぐに起動する。

terminal 上で my_help file 名と打つと起動する。file 名の前に以下の命令を書き、実行する。

`delete` delete HELP_NAME help

`edit` edit HELP_NAME help, emacs を使って org-mode で編集

`list` list all helps, specific HELP, or item

`new` make new HELP_NAME help

3 my_help 課題、開発目標

my_help は時々動かなくなることがある。ファイルは作成されているのにも関わらず、ファイルがディレクトリに存在しないというエラーが起こる。

コードを上部分から下部分に書き換えて、version を更新。

ソースコード 1 hogehoge

```
1 < p target_help = File.join(@local_help_dir,file+'.org')
2 < if local_help_entries.member?(file+'.org')
3 < system "emacs #{target_help}"
4 < else
5 < puts "file #{target_help} does not exists in #{
  @local_help_dir}."
6 < puts "init #{file} first."
7 ---
8 > target_help = File.join(@local_help_dir,file)
9 > ['.yaml','.org'].each do |ext|
10 > p target_help += ext if local_help_entries.member?(
  file+ext)
```

現在、my_help は自身の知識だけを memo として残すことができる。しかし、より効率的な知識の習得方法として、アクティブラーニングが挙げられる。my_help 内にある知識を共有できるようなシステムを開発することが今後の目標である。

加えて、共有することのより、他人の進捗状況を把握できるようになる。進捗管理することによって学習を強制することができる。

3.1 アクティブラーニング

- 現在の日本の高等学校までの教育ではあまり馴染みがない。

テキストや教授者から知識を得るのではなく、自らも参加者になって知識を共有する。

- AM(acquisition metaphor)
- PM(participation metaphor): 学習あるいは学習者は参加者。学会活動もこれ。研究者が学会で認められるということは、その分野での用語を使って参加者とコミュニケーションを取れることであり... 論文集を出すことや初心者向けのテキストを書いたりする活動も学習支援のひとつ。

| | acquisition metaphor | participation metaphor |
|---------------|----------------------------|---------------------------|
| 学習目標 | 個々を豊かにする | 共同体の構築 |
| 学習とは? | 何かを獲得する (acquisition)) | 参加者 (participation) |
| 学習者 (student) | 受容者 (消費者), 再構築者 | 周辺にいる参加者 |
| 教授者 (teacher) | 供給者, まとめ役, 媒介者 | 実践や論考の修得者 |
| 知識, 概念 | 資産, 所有物, 一般商品 (個人のあるいは公共の) | 実践, 論考, 活動 |
| 知るとは | 持つ, 所有すること | 所属する, 参加すること, コミュニケートすること |